

科目区分	統合分野	科目名	看護管理		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・15時間	講師名	看護師
学習目標	1. 看護管理の目的と機能について理解できる。 2. 組織の一員として看護師の役割や行動を理解する。 3. リーダーシップとメンバーシップおよびマネジメントの基礎を理解する。 4. 看護を経営的・経済的側面から考えられる。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	第1章 看護とマネジメント			講義
	2	第2章 看護ケアのマネジメント 1) 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2) 患者の権利の尊重 3) 安全管理			講義
	3	4) チーム医療 5) 看護業務の実践 第3章 看護職のキャリアマネジメント			講義
	4	第4章 看護サービスのマネジメント 1) 看護サービスのマネジメント 2) 組織目的達成のマネジメント 3) 看護サービスの提供のしくみづくり			講義
	5	4) 人材のマネジメント 5) 施設・設備環境のマネジメント 6) 物品のマネジメント 7) 情報のマネジメント 8) 組織におけるリスクマネジメント 9) サービスの評価			講義
	6	第5章 マネジメントに必要な知識と技術			講義
	7	第6章 看護を取り巻く諸制度			講義
	8	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 看護管理 看護の統合と実践① 《医学書院》				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習			

科目区分	統合分野	科目名	医療安全		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 医療安全の考え方を理解する。 2. 安全管理の必要性を理解する。 3. 安全管理の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 医療安全を学ぶことの大切さ 2. 事故防止の考え方を学ぶ 1) 医療事故とは何か ① 定義、レベル、発生			講義
	2	② ヒューマンエラー ③ 事故の構造の理解			講義
	3	3. 医療サービスの基本 1) 看護師の法的責務 2) 患者と医療従事者の齟齬			講義
	4	4. 医療事故の実際と事故防止 1) 診療補助の事故防止 ① 患者に投与する業務における事故防止			講義
	5	② 継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故			講義
	6	2) 療養上の世話の事故防止			講義
	7	3) 業務領域を超えて共通する間違いと発生要因			講義
	8	4) 医療安全とコミュニケーション			講義
	9	5) 労働安全衛生上の事故防止 (職業感染…含)			講義
	10	※医療事故事例1の原因と防止策の検討			グループワーク
	11	※医療事故事例2の原因と防止策の検討			グループワーク
	12	5. 安全管理のシステムとプロセス 1) 組織としての医療安全対策 (インシデント報告の有用性…含)			講義
	13	2) システムとしての事故防止			講義
	14	3) 病院としての取り組み (研修・訓練の重要性) 4) チーム医療関連部門との協働			講義
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	医療安全 看護の統合と実践② <医学書院>				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキスト、配布資料の熟読および持参する 配布資料およびテキストでの照らし合わせ復習する		

科目区分	統合分野	科目名	国際・災害看護		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 国際看護の基本的理念と方法を理解し、国際協力について考える。 2. 災害および災害看護に関する基礎的知識を理解する。 3. 災害発生時の社会の対応やしきみ、個人の備えがわかる。 4. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響を理解する。 5. 災害に看護が果たす役割、災害各期における看護支援活動を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	国際看護 国際社会の現状と国際看護活動の課題			講義
	2	国際看護活動の支援を必要とする対象			講義
	3	国際看護活動			講義
	4	国際看護 国としての国際協力活動			講義
	5	看護における国際化			講義
	6	災害看護の基本的な考え方と看護の役割			講義
	7	災害医療の基本			講義
	8	CSCATTT 災害拠点病院 災害関係諸機関との連携			講義
	9	災害看護の実際			講義
	10	災害発生時の対応			講義
	11	急性期の災害医療・災害看護活動			講義
	12	亜急性期以後の災害医療			講義
	13	外傷の観察の仕方			講義
	14	トリアージ訓練			講義・演習
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	新体系看護学講座 国際看護 <<メヂカルフレンド社>> 新体系看護学講座 災害看護 <<メヂカルフレンド社>>				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習			

* この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	統合分野	科目名	臨床看護技術演習			
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	専任講師	
学習目標	1. 複合的な援助を要する患者への援助ができる 2. 多重課題に対する優先度の考え方を理解する					
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態	
	1	臨床実践能力			講義	
	2	複数受け持ち患者の看護実践 複数患者の受け持ち・行動計画立案			講義	
	3	看護師の役割 1) リーダーの看護師 2) メンバーの看護師 3) 夜間の看護師			講義	
	4	複数患者の観察と確認① 複数患者の受け持ち・行動計画の実施に向けて			グループワーク	
	5・6	複数患者の観察と確認②③ ・複数患者の観察と確認の実際			演習	
	7	緊急入院患者の受け入れ（紙上事例） ・入院患者の情報をとる ・行動計画の変更			講義	
	8・9	突発時の対応①② 1) 観察とアセスメント 2) 初期対応 3) リーダー看護師に報告 4) リーダー看護師、メンバー看護師の役割			演習	
	10	複数・複合事例の看護の実践① 1) 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダー・メンバー看護師間の指示伝達及び連絡・報告・相談を踏まえた行動計画 2) 対象の状況に応じた看護実践のための行動計画			グループワーク	
	11	複数・複合事例の看護の実践② 1) 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダー・メンバー看護師間の指示伝達及び連絡・報告・相談を踏まえた行動計画実施へ向けての準備			演習	
	12・13	複数・複合事例の看護③④ 1) 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダーへの相談を踏まえた日常生活の援助及び診療の補助技術の実施			演習	
	14	臨床に即した多重課題、複合課題（紙上事例） ・ケアの優先順位・多重課題の優先順位・主治医、当直医への報告 ・急変時への家族への連絡			グループワーク	
	15	筆記試験 OSCE				
	評価方法	筆記試験				
	テキスト	看護実践マネジメント・医療安全 《メヂカルフレンド社》				
参考文献						
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	演習・OSCEに向けての自己学習、看護技術の自己練習			